

なぜ流行に乗るのか—意思決定に関わる個人差要因の検討—

人間学部教育人間学科 教職コース 1301022 荒井円花

〈調査方法〉

対象者：大正大学に在籍する大学生 109 名（男子：71 名、女子：38 名）

方法：質問紙調査を実施した。

調査内容：①日本版後悔・追求者尺度（36 項目）②相互独立的—相互協調的自己観尺度（青年・成人用）（19 項目）③被影響性尺度（7 項目）④流行注目尺度（12 項目）

※①は「後悔行動尺度」「後悔心情尺度」「追求行動尺度」「追求心情尺度」の 4 つの下位尺度に分ける。④は自ら考えた尺度を「流行注目尺度」とし、すべての回答を 5 件法で求めた。

〈調査結果〉

全変数の相関分析表

尺度名	流行注目	後悔行動	後悔心情	追求行動	追求心情	相互独立・協調	多次元共感
日本版後悔・追求者尺度							
後悔 1（行動面）	.124	1.000					
後悔 2（心情面）	.240*	.263*	1.000				
追求 1（行動面）	.413**	.253**	.560**	1.000			
追求 2（心情面）	.230*	.337**	.930**	.527**	1.000		
相互独立的・協調的	.137	.352**	.189	.109	.204*	1.000	
被影響性尺度	.195*	.375**	.152	.204*	.200*	.669**	1.000

(**p<.01, *p<.05, +p<.10)

- ・「後悔心情尺度」と流行注目尺度の相関分析を行った結果、有意な正の相関が見られた。
($p<.05$) ⇒失敗した時、心情面に負の影響が大きいほど流行に乗る傾向があるといえる。
- ・「追求行動尺度」と流行注目尺度の相関分析を行った結果、有意な正の相関が見られた。
($p<.01$)
- ・流行注目尺度を見直すと、どれだけ衣服を選択するために様々な場面で注目し熟慮をしているかというところに「後悔心情尺度」が関連している。
- ・失敗した時に心情面に負の影響が大きいほど流行に乗る傾向があるのか。⇒相手のものが自分のものより、よりよく見えたりするといった思いを極力しないようにするため、失敗したと思う経験をしないように策をとろうとするため。

〈まとめ〉

- ・後悔をしない行動をすることや後悔したという経験を避けるために、流行を注目するという傾向を見ることができた。
- ・流行に乗る傾向には、周りに合わせないといけないという気持ち（同調性の欲求）よりも変化を求める気持ちや個性を出したいと思う気持ち（差別化への欲求）が流行に乗る、流行に注目することが分かった。
- ・被影響性と流行注目尺度の関連から周りをよく観察したり、周りの雰囲気敏感であることが考えられ、流行を察知することにも敏感であることが分かった。